

PEDY SERVICE

* 模倣品の排除を目指して *

PASSCELL INTEGRATION

PEDDY サービスの目的

- 本サービスはPeddyを活用した真正性の証明サービスです。（Peddyについてはサイトを御覧ください）
- Peddyサービスには基本的な型が5つあります。
- 私たちは、この5つの型で物やデータの真正性証明が必要なパターンの大部分をカバーできるのでないかと考えています。（複数の型を組み合わせることも可能です）
- 続くページの各型についての説明中に、その型に対応する代表的な用途を載せていますので参考にして下さい。
- 我々は基本となる5つの型から最適な型を選択していただき、それをベースにしたカスタマイズを提供しています。
- ゼロからの製作ではないので、短期間・低コストでの立上げが可能です。

5つの基本型の中に使えそうなものがありますか？

1. 美術品、クラフト、稀覯本などの単品の来歴を証明
2. 大量生産品の来歴証明と、それらの品が同一ロットに属することの証明
3. 物流過程での厳密な受け渡し履歴を改ざん不可能な形で記録
4. ダイナミックなID証明の提供（安全な電子チケットとして利用可能）
5. デジタルデータの真正性を証明

この5つのタイプの中に貴社ビジネスに適用可能なものがあったでしょうか？

以下で基本型それぞれの特徴を説明していますので探してみてください。

型 1 : 単品の来歴証明

- 骨董品、美術品、フィギュア、初版本、その他、個々の物が価値を持ち、個人間で交換や譲渡されるものの真正性を証明するのに用います。
- 物それ自体が本物かどうか判定するには、専門家に鑑定してもらったり、成分分析してもらったりと、決して手軽にはいきません。
- Pedyシステムは製作者、または信用のおける鑑定機関が発行した本物証明を暗号化して、この暗号をモノと一緒にやり取りすることで、最初の証明の効能がずっと保たれるようにします。
- 暗号証明書Pedyを採用した場合、Pedyを伴わないモノは見た目が一緒でも模倣品である可能性が高まるため、流通させにくくなり、模倣品の流通は減っていきます。

型2：大量生産品の来歴証明と帰属するロットの検証

- 1ロットに対して1枚のPedyを発行します。同時に1ロットに帰属する製品数を指定して、その数量分の暗号QRも発行します。
- 薬品、化粧品、機械、オイル、ボンベ等、ロット単位で製造する業界が対象です。
- 暗号QRは各製品や内箱に貼り付けてください。Pedyの所有者だけが当該QRを読み取り、それが目的のロットに帰属するものかどうか判定できます。
- Pedyは人から人へと引き渡され、その都度来歴が追加されます。このバージョンのPedyは複数人に渡すことが可能になっています。
- 製品に貼ったQRの写真を撮って模倣品に貼り付けても、模倣品には来歴（Pedy）が付帯していないので、その製品に真正性がないことに気づきます。

型3：物流過程での厳密な受渡記録を改竄不可なフォーマットで保管

- あらかじめ輸送経路が決まっているような物流における受渡記録を、書き換えが不可能な形式で保管するためのPedyタイプです。
- 輸送における各区間の担当者が決まった時点で、当該担当者にPedyが一括配信されます。各担当者は荷物を引き渡す際に自身のPedyを相手に読み込ませます。Pedyには引き渡しの順序が組み込まれており、正しい順番で荷物の引き渡しが行われなかった場合は、管理者に通知が届きます。
- この機構を用いれば、運搬者が見知らぬどうしても、正しい受渡相手に荷物を渡せます。またPedyは来歴を持っているので、最終的に誰から誰を經由していったか、運送過程が記録されており、あらためて伝票に記載する必要がありません。

型4：提示のたびに再計算されるダイナミックなID

- IDとして使用できるPedyです。このIDは表示するたびに再計算されるので、盗撮しても悪用することができません。1度きりの使用しかできないのです。
- ID用Pedyは譲渡することはできませんが、相手にチェックさせることは可能です。
- この型のPedyはコンサートのチケット代わりに利用できます。チケット購入時に身元証明としてPedyを使うようにすれば（利用した瞬間に使ったPedyは再計算され新しいIDになる）コンサート会場では新しいIDを提示するだけで入場可能になるのです。
- 1つのPedyで購入している複数のコンサート会場に入れて便利です。
- ID用Pedyには資格証明や卒業証書、その他いろいろな証明を結びつけておくことが可能です。必要に応じて真正性が担保されたデジタル証明書を提示できます。

型 5 : デジタルデータ真正性の証明

- Pedyは元々は来歴証明として制作されたものですから、書類とPedyをペアで使うと、その書類がどのような経緯で運ばれてきたか追跡することができます。
- 具体的には書類ファイルとPedyをペアで秘密鍵を使って暗号化します。渡された相手は公開鍵を使って暗号を元に戻すのですが、中に入っているPedyをチェックすれば、それが正しい経路を通ってきたものか、怪しい経路で来たものか判別できます。
- 稟議書のように閲覧の順番が決まっている書類には、指定された順に、しかも当人にしか閲覧できないような仕組みを、組織や管理システムを超えて構築できます。
- 書類受渡しのある段階で、ファイルをバラバラにして、それぞれのページを複数の人に安全に引き渡したい場合にも利用できます。

お問い合わせ

- 上記の5つの基本型の中に、貴社のビジネスに活用できそうなパターンがあるようでしたら、弊社サイトの問い合わせページより御相談ください。
- 弊社はこの5つのパターンを駆使して、貴社の模倣品に関する課題等を早急に解決できるソリューションを、短期間・低コストで提供いたします。

問合せ窓口 <https://passcell-i.com/contact/>